

株主の皆様へ

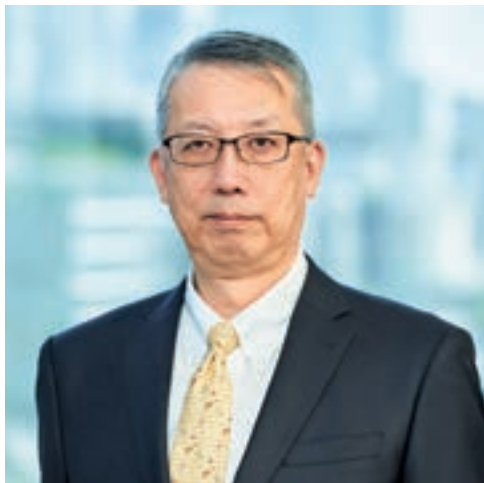
第125期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

TOHO ZINC CO., LTD.

証券コード: 5707

 東邦亜鉛株式会社



代表取締役社長 伊藤正人

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第125期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）における業績、並びに第125期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）通期見込みの修正を11月10日に公表いたしました。上半期の親会社株主に帰属する四半期純損失は▲257億1700万円、通期純損失の見込みは▲300億円と、過去に例を見ない損失を計上し、株主の皆様には大変なご心配をおかけする決算となりました。

この巨額損失の主要因は、不採算海外事業であった豪州の連結子会社CBH Resources Limited（以下「CBH社」といいます。）が所有するラスブ鉱山の資産をほぼ全額減損したことによります。当社は2010年にCBH社を完全子会社化し、2012年のラスブ鉱山開山以降、様々な鉱山技術を駆使し採掘を進めてまいりました。しかし、複雑な鉱山構造であったが故に採掘経済性が改善せず、2024年末までに閉山することといたしました。資源事業に配賦する投資が当社全体のほぼ半分を占める一方で赤字が続き先々改善も見込めないということは、この不採算事業からの撤退で本年度の損失計上と引き換えに来期以降の収益性が格段に改善するということと同義です。当社は資源事業での事業改革に併せ、中国の不採算事業も整理し、来期から始まる第13次中期経営計画（以下「第13次中計」といいます。）に負の資産を残さない、という大きな決断をいたしました。

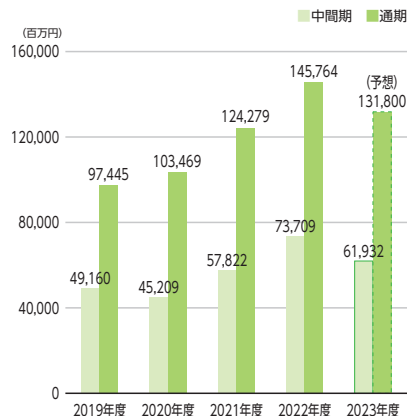
一方で、2023年度の配当予想は無配という、株主の

経営理念

- 1 “顧客”を満足させる良質の製品・サービスを提供する。
- 2 “株主”の期待に応える業績をあげ、企業価値の増大を図る。
- 3 “従業員”の生活を向上させ、働き甲斐のある会社にする。
- 4 “地域”の一員として認められ、地域にとって存在価値のある会社を目指す。

連結業績データ

▶ 売上高の推移



皆様には大変申し訳ない結果となります。

経営責任の明確化について

今回の事業改革は来年度以降の収益性を大きく改善しますが、自己資本を大きく毀損し、かつ無配という結果を招きます。経営責任を明確にするため、本年11月から当分の間、代表取締役社長50%、取締役兼務執行役員40%、執行役員30%の報酬（株式報酬分を除く）を減額し、覚悟と決意を持って経営に努めてまいります。

また、外的要因によらないあらゆる費用も削減に努め、第13次中計を含む2030年ビジョンのコスト構造をこれまで当社が成しえなかった水準まで強固なものにいたします。

2030年ビジョン（旧10年ビジョン）について

来年度から第13次中計が始まりますが、株主の皆様へ当社の長期のビジョンをよりご理解いただくため、今般、2030年ビジョンとして公表いたしました。これは、当社が以前に10年ビジョンとして公表していたものですが、今回の事業改革を踏まえ、大きく3つのポイントにまとめております。

一点目は、製錬事業のリサイクル化であります。鉛製錬はすでに廃バッテリー利用を進めておりますが、加えて、亜鉛製錬もリサイクル化に踏み出してまいります。亜鉛製錬は電力多消費事業であり、今後の電力料金高

止まりを前提とすると、コストの削減なくして事業の維持・継続は不可能であります。今後、地球温暖化対応として進展する高炉の電炉化により、亜鉛を含んだリサイクル原料である電炉ダストの供給増が予想されます。これをチャンスと捉え、精鉱からリサイクル原料へ転換していくことで原価の低減を実現し、安定的な収益改善を図ってまいります。これは同時に、循環型社会への貢献となります。

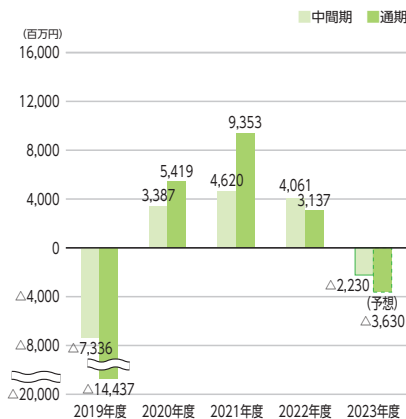
二点目は、不採算海外事業の事業改革を契機とする資源事業の縮小であります。今後は、持分法(40%出資)によりCBH社を通じ保有する西蒙州アブラ鉱山（2023年初より採業開始）が唯一の資源事業となりますが、当社の財務状況と比較しつつ、厳格に事業性の判断を行ってまいります。

三点目は、電子部材・機能材料事業において新製品開発及びその販売に注力することです。これまでの単独路線から、他社あるいは他拠点と提携・協業することにより、製品供給能力を拡大し、地球温暖化対応という追い風にのったEV市場やエネルギー市場などの成長市場をターゲットにしてまいります。既に複数の企業とNDA締結を済ませ、協業スキームの調整を行っております。

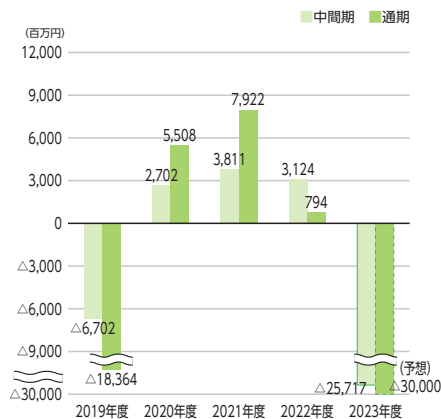
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2023年12月

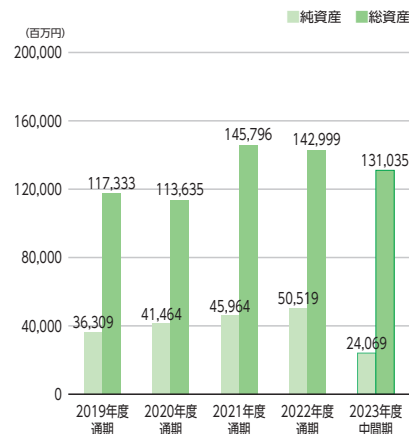
▶ 経常利益の推移



▶ 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



▶ 純資産、総資産の推移

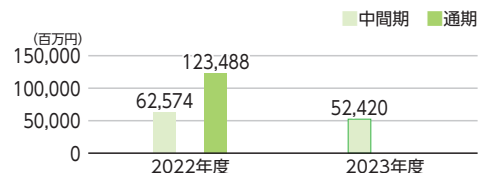
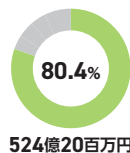


製錬事業部門



売上高524億20百万円
前年同期比16%減

主要な事業内容
亜鉛製品、鉛製品、電気銀、金、硫酸



《亜鉛》

減販に加えて、相場下落の影響が大きく前年同期比14%の減収となりました。

《鉛》

販売量は前年同期並みだったものの、円安の影響で国内販売価格が上昇したこともあり、前年同期比15%の増収となりました。

《銀》

相場は前年同期比で上昇したものの、減販の影響が大きく、前年同期比3%の減収となりました。

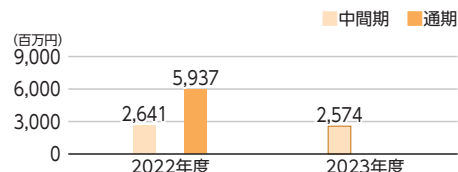
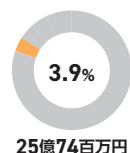
以上のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の業績は、亜鉛相場下落の影響が大きく、売上高については減収となりました。損益については、昨年度からの電力代や諸資材価格の高騰が継続していることに加えて、亜鉛相場下落によるフリーメタル収入減及び金等其他製品の減益が大きく、前年同期比で20億35百万円の減益となりました。

環境・リサイクル事業部門



売上高25億74百万円
前年同期比3%減

主要な事業内容
酸化亜鉛、硫酸リサイクル



自動車のタイヤ製造に用いられる主力製品の酸化亜鉛は、増販となった一方、亜鉛相場下落により減益となりました。また、エネルギーコストや諸資材価格高騰の影響もあり、当事業部門の業績は、前年同期比で8億19百万円の減益となりました。

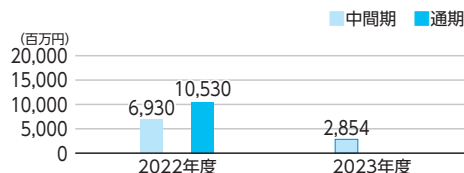
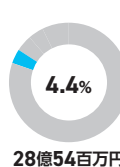
※各事業部門の売上高には、事業部門間売上高を含みます。

資源事業部門



売上高28億54百万円
前年同期比59%減

主要な事業内容
亜鉛鉱石、鉛鉱石



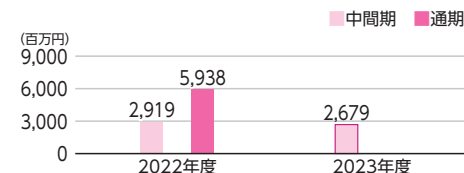
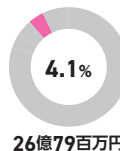
豪州CBH社では、ラスプ鉱山においては粗鉱処理量減及び粗鉱品位の低下による精鉱出荷量の減少により減益となりました。また、2023年1月より本格的に操業を開始したアブラ鉱山も、操業立ち上げ初期段階の要因により損失が先行した事と開発に伴う金利負担により、持分法投資損失を20億円弱計上いたしました。以上の要因から当四半期は前年同期比で減収減益となり、35億27百万円の経常損失を計上するに至りました。

電子部材・機能材料事業部門



売上高26億79百万円
前年同期比8%減

主要な事業内容
電子部品、電解鉄、
プレーティング製品、粉末冶金製品、バランスウエイト



《電子部品》

電子部品事業は、車載電装向けの一部製品の受注減などもあり、前年同期比で6%の減収となりました。

《電解鉄》

米国の航空機用特殊鋼需要は回復したものの、国内の車載向けや半導体装置向けの特殊鋼需要が落ち込み、売上高は前年同期並みとなりました。

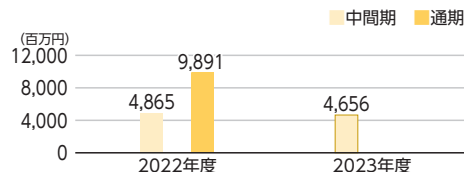
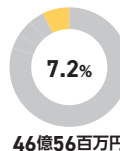
以上のほか、プレーティング事業及び機器部品事業を合わせた当事業部門の業績は、プレーティング事業において受注減となったこともあり、売上高は減収となりました。損益面では、電子部品事業における滞留在庫の処分損失計上などもあり、前年同期比で2億22百万円の減益となりました。

その他事業部門



売上高46億56百万円
前年同期比4%減

主要な事業内容
防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、
運輸、環境分析



防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業、運輸事業、環境分析事業等からなる当事業部門の業績は、亜鉛・鉛製品の減販に伴い運送荷物やリサイクル原料等の扱い量が減少したことなどもあり、前年同期比で2億8百万円の減収、65百万円の減益となりました。

会社概要

- **本社** 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
電話 (03) 6212-1711 (代表)
- **設立** 1937年3月5日
- **資本金** 14,630,708,899円
- **従業員数** 単体：544名、連結：1,070名
- **事業内容** 製錬事業、環境・リサイクル事業、資源事業、電子部材・機能材料事業、防音建材事業

取締役

- | | | |
|------------|-------|--|
| 代表取締役社長 | 伊藤 正人 | |
| 取締役兼専務執行役員 | 山岸 正明 | サステナビリティ推進本部長
兼システム統括部長兼DX推進室長
兼管理本部管掌 |
| 取締役 | 中川有紀子 | (社外取締役) |
| 取締役 | 武藤 雅俊 | 常勤監査等委員 (社外取締役) |
| 取締役 | 大坂 周作 | 監査等委員 (社外取締役) |
| 取締役 | 今井 力 | 監査等委員 |

執行役員

- | | | |
|--------|-------|---|
| 常務執行役員 | 大久保 浩 | 総務本部長 |
| 常務執行役員 | 中川 英樹 | 資源事業部長
兼ソフトカーブ事業部担当
兼資材調達部担当 |
| 常務執行役員 | 森田 英治 | 金属・リサイクル事業部製錬所統括
兼安中製錬所長
兼技術・開発本部管掌 |
| 常務執行役員 | 飯塚 茂 | 電子部材事業部長
兼藤岡事業所長兼機能材料事業部担当
兼機器部品事業部担当 |
| 執行役員 | 有本 龍平 | CBH Resources Ltd. CEO |
| 執行役員 | 高橋 康司 | 小名浜製錬所長 |
| 執行役員 | 佐藤 義和 | 金属・リサイクル事業部長
兼金属営業部長兼大阪営業部長
兼事業企画部長 |
| 執行役員 | 二木 健匡 | 管理本部長 |
| 執行役員 | 山崎 晃一 | 東邦契島製錬株式会社代表取締役社長 |

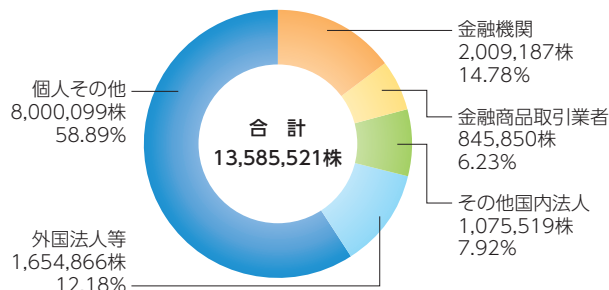
株式の状況

- **発行可能株式総数**……………26,400,000株
- **発行済株式の総数**……………13,585,521株
- **株主数**……………14,953名
- **大株主**

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,310	9.7
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	265	2.0
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	220	1.6
石井偉永	210	1.5
株式会社SBI証券	209	1.5
株式会社扇谷	200	1.5
JP MORGAN CHASE BANK 385781	189	1.4
住友生命保険相互会社	120	0.9
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	116	0.9
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	109	0.8

(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

株式所有者別分布状況



グローバルネットワーク



- A** 本社
- B** 大阪支店
- C** 名古屋支店
- D** 安中製錬所
- E** 小名浜製錬所
- F** 藤岡事業所
- G** 東邦契島製錬株式会社

安中製錬所



小名浜製錬所



藤岡事業所



東邦契島製錬株式会社



CBH Resources Limited
Level 10, 99 Mount Street,
North Sydney NSW 2060 Australia

- A** 本社
- B** ラズプ鉱山 (閉山予定)
- C** エンデバー鉱山 (休山中)
- D** アブラ鉱山

ラスプ鉱山



アブラ鉱山



株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 基準日 3月31日、その他必要により取締役会で決議した日
- 配当金支払
株主確定日 3月31日及び中間配当を実施するときは9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 公告の方法 電子公告 <https://www.toho-zinc.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたし
ます。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
(お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番1号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル0120-232-711
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求
その他各種手続きにつきましては、原則、
口座を開設されている口座管理機関（証券会
社等）で承ることとなっております。口座を
開設されている証券会社等にお問い合わせく
ださい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）
ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手
続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が
口座管理機関となっておりますので、左記特
別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）
にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信
託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ
信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社WEBサイトのご案内



当社WEBサイトでは、決算短信等、最新会社情報を
「IR情報」に掲載しております。

今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるよう工夫
を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。

<https://www.toho-zinc.co.jp/ir/>

東邦亜鉛 IR 検索